若者会議
第５回 開催記録

●日　　時：令和元年9月 29 日（日） 午後1時から午後4時まで
●場　　所：イオンモール東浦 2 階 イオンホール
●参加人数：19 人
【内訳】
社会人：4人
大学生：7人
高校生：6人
中学生：2人

●内　　容：1 開会
2 本日の予定について
3 報告会準備
4 報告会
5 アンケート記入等
6 閉会

●開催日程・内容
【第1回】8月4日（日）　若者会議でやってみたいことを考える。
【第2回】8月 25 日（日） グループにわかれて取り組む内容を決める。
【第3回】9月 14 日（土） 事業の具体的な内容について話し合う。
【第4回】9月 21 日（土） さらに内容を詰めて、報告会の準備をする。
【第5回】9月 29 日（日） 報告会を開催する。

≪前回までの振り返り≫

第1回では、若者会議で「やってみたいこと」のアイデアを出し合い、第2回では、グループに分かれ具体的な「やってみたいこと」を話し合いました。第3回からは、各グループ取り組む内容を一つに決めて、事業実施に向けて具体的な内容を調べていき、情報共有の時間には他グループへ事業を実施する際の問題点、課題などについての質疑応答を行いました。第4回では、質疑応答や他グループから聞いた意見を基に、第5回で行う報告会に向けて、準備を行いました。

【活動の様子】

≪第5回では≫

第5回では、グループで今まで話し合ってきた内容の最終確認や、プロジェクターを使ったリハーサルを行った後、報告会を行いました。

報告会の流れ

1　町長あいさつ
2　若者会議について
3　発表、質疑応答
(1)テ　ー　マ:空き家を核とした地域イノベーション
　　グループ名:バラバラ
　　内　　容:空き家の活用に関する提案
(2)テ　ー　マ:東浦の香りプロジェクト
　　グループ名:打ち上げ花火
　　内　　容:特産品の知名度向上に関する提案
(3)テ　ー　マ:イベント開催！！
　　グループ名:おだっトモンスター清潔
　　内　　容:若者の交流の場に関する提案
(4)テ　ー　マ:産業まつりの環境改善
　　グループ名:タピオカパンダ
　　内　　容:産業まつりの環境改善に関する提案
4　町長講評

町長あいさつ

報告会の町長あいさつについての概要です。

若者の皆さん、若者会議に参加してくださりありがとうございます。今まで行政では、若者の意見をあまり聞いてこなかったので、今後は、若い人の意見を積極的に聞いていきたいです。

また、若者には考えるだけではなく、行動してほしいと思います。自分の一歩でまちが変わっていくことを実感していただき、まちづくりに参加しているという感触をつかんでください。

若者は、我々にはない発想を持っています。本日は、参加者の皆さんに若者のアイデアを聞いていただける機会になればよいと思います。失敗しても構いませんので、失敗を恐れずにのびのびと発表してください。皆さんの発表を楽しみにしています。

Group　Name

バラバラ

❝空き家を活用したシェアハウスを運営して
空き家を核とした地域イノベーションを起こしたい❞

緒川駅周辺の空き家を使用してシェアハウスを作り、居場所がないと感じている人に「逃げ場」を提供し、地域住民同士の交流の場としても活用していくことで、地域のつながりを強め、地域活性化に繋げたいと考えている。

【発表概要】

① 物件を探し、掛かる費用をクラウドファンディングにて集める
② リノベーションを行う前から住めるシェアハウスとして、居住者を募集する
愛着や親しみをもってもらえる「愛されるシェアハウス」を目指す
③ リノベーションを行い、ホームページで住民を募集する
④ 内装等の細かな部分の改修を行い、シェアハウスを完成させる
⑤ シェアハウスの住民で野菜を育て、育てた野菜を用いて食事会などを行い、地域住民との交流を図る

【質疑応答】

・ 情報の拡散方法には何を考えていますか。
⇒ Twitter 等の SNS や、ホームページを作成して拡散する予定です。
・ 「シェルターを必要としている人」はどのように集める予定ですか。
⇒ 自分たちの体験からも考えられるように、東浦町だけでなくても、シェルターを必要としている人はいると思うので、出来るだけ多くの方に情報発信したいと考えています。
・ 「逃げ場」としたのはなぜですか。
⇒ 学校では守ってもらえず、気持ちを吐き出せる場所もないことから、気持ちを吐き出せる「気持ちを逃がす」場所としても逃げ場としました。
・ 「逃げ場」としてはどのような場所がいいと思いますか。
⇒ SNS 内だけでなく、社会とつながりや関わりが持てる場所や、学校や家以外で地域の方に支えられながら生活できる場所、地域の方と若者が助け合える場所が良いと思います。
・ 予算の 3700 万円はどのように出しましたか。
⇒ 最初にインターネットで見た物件が 3000 万円程の金額であったため、他の費用と併せて考えて 3700 万円にしました。ただ、物件の値段は交渉等で減らすことが出来ると思うので、仮の予算として書きました。

Group　Name

打ち上げ花火

❝ 東浦町の特産品を使ってアロマキャンドルが作りたい ❞

東浦のぶどうと愛知万博の際にパートナーシップを結んだケニア共和国の紅茶を使ってアロマキャンドルを作ることで、国際交流を深めるとともに、東浦町の新たな特産品を作り東浦町を PR したいと考えている。

【発表概要】

① ぶどう以外の材料を購入する
② ぶどう農家に交渉に行き廃棄予定のぶどうを受け取る
③ 試作品を作ってみる
④ SNS・チラシ、おだい市＆東浦セミナー実行委員（※）のアカウントを使用して情報発信する
⑤ 11 月 23 日のおだい市に出店する
⑥ 菜の花の時期には、菜の花入りのキャンドルを作り、於大まつりで販売する

※おだい市＆東浦セミナー実行委員とは、自分自身で調査、研究した手作り品や事柄等の発表の場（おだい市）を提供することにより、東浦町の地域振興、活性化を目的としている団体である。

【質疑応答】

・ おだい市では、1個いくらで売る予定ですか。
⇒ 1個 200 円で売る予定です。
・ おだい市や於大まつりだけではなく、ネットで販売しても良いかなと思います。
・ 30 個のアロマキャンドルを作るには、どれくらいぶどうを使いますか。
⇒ おそらく一房の4分の1程度で作ることができます。
・ どのようなデザインで作る予定ですか。
⇒ 見た目でお客さんを惹きつけられるようなデザインにしたいと思っています。また、紅茶の葉は色を出すのに使うだけでなく、キャンドルの中にも入れようと考えています。さらに、ぶどうの皮もキャンドルの中に入れることで、デザイン性を高められるのではないかと思っています。
・ アロマキャンドルを買うのは、女性や小さなお子さまがいる方だと思います。そのため、見た目の可愛らしいものや、今流行っているドライフラワーを入れるのも良いのではないかと思いました。
・ 色や香りなど、どのようにぶどうを使う予定ですか。
⇒ インターネットで調べてみたところ、ぶどうを煮て色のついた液体を抽出して使っていきたいと考えています。

Group　Name

おだっトモンスター清潔

❝ 於大公園を使ってイベントを開催したい ❞

於大公園を使って、フェスやコスプレなど若者対象のイベントを開催することで、多くの人を東浦町に集めて、皆で楽しく笑顔で盛り上がれるイベントを開催したいと考えている。

【発表概要】

① 「公園の使い方を考えるワークショップ」に参加しアイデアを出す
② 10 月中旬まで、自分たちで声をかけて出演者を募る
③ 機材等の準備・確保する
④ 苦情等に備え、回覧板等で周辺住民にイベントを開催することを知らせる
⑤ 当日必要なもの（楽器など）は各自持参してもらう
⑥ 雨天の場合はステージを半分に分けて実施する
（半分を出演者用、半分を観客席として使用）

【質疑応答】

・ タイトルは「秋フェス」で良いですか。
⇒ タイトルは未定のため、今後、根詰めて考えていきます。
・ コスプレはどのようにフェスに絡ませていきますか。
⇒ 最初はフェスとコスプレを同時進行しようと考えていましたが、話し合った結果フェスをメインに実施することになったため、コスプレをしたい方が集まれば着替える場所を用意し実施していきたいと考えています。
・ 当日、企画側がコスプレをするのはいかがでしょうか。
⇒ 面白いですね。考えておきます。
・ 当日、同じ会場で小学生を対象としたイベントも開催されますので、年齢差はありますが、幅広い世代の交流ができるフェスになればと思います。

Group Name

タピオカパンダ

❝環境美化に関する取組がしたい❞

産業まつりでゴミ箱の設置、シェア自転車の運営、バザーの拡大を行い、産業まつり後も、継続可能な取り組みを続けていくことで、東浦町の景観を保ち、魅力度をアップさせたいと考えている。

【発表概要】

＜ゴミ関係＞

① ゴミ箱、看板作成に必要なものを集める
② 蛍光テープ等を使って、目立つゴミ箱、看板を作成する
③ 商工振興課と打ち合わせを行いながら、設置場所を決めて地図に明記する
④ 11 月9～10 日に開催される産業まつりで実施する

＜自転車関係＞

① 自転車を集めて、修理し、実証実験を行う
② 実証実験で見つかった課題を調整し、2020 年度の産業まつりで実施する
③ 貸出・用途別に料金を設定して運営する
（移動用：100 円（30 分以内）、観光用：300 円）
④ デポジット制を用いて積極的に返却してもらえるような仕組みを作る

＜バザー関係＞

① バザーの主催者とバザーの拡大について協議する
② 品数を増やすために、役場や文化センターなどにいらなくなった物の回収ボックスを設置する
③ 2020 年の産業まつりで実施する

【質疑応答】

・ シェア自転車について、自転車を返す駅は借りた駅のみではなく、他の駅でも良いことにする予定ですか。

⇒ 他の駅でも返せるようにするのが理想ですが、申込書や鍵の管理など課題が多く出てくるので、1年後の実現に向けて話し合っていきたいと考えています。

・ シェア自転車は東浦駅には設置しないのですか。

⇒ 設置の目的が「産業まつりで使ってもらう」であるため、産業まつりの会場である文化センター周辺の緒川駅、石浜駅を候補に設置しようと考えています。

・ シェア自転車は「会場から遠いから使いたい」と思う人が多いと思うので、緒川駅、石浜駅のように会場まで歩いて行ける駅ではなく、東浦駅や尾張森岡駅に設置した方が良いのではないですか。

⇒ 町外から東浦町に来る方に向けたシェア自転車のため、町外から東浦町に来る際に使うことの多い緒川駅、石浜駅に設置した方が良いのではないかと考えました。

・ 時間、値段については、どのように管理しますか。

⇒ 産業まつり当日は、トランシーバーや携帯電話で情報共有して管理したいと考えています。産業まつり以外については、今後話し合って決めていきます。

・ シェア自転車専用の自転車置き場を設置するのであれば、緒川駅、石浜駅の自転

車置き場は普段からいっぱいなので、どのように設置するのか教えてほしいです。

⇒ シェア自転車専用の駐輪場を今ある駐輪場の中に作りたいと考えています。

・ 設置する自転車は 30 台では少ないと思います。

⇒ 実証実験後に台数は増やしていきたいと思っています。

町長講評

報告会の町長講評についての概要です。

皆さんの発表を聞いて、いつ実施するかを言い切る姿に驚きました。若者会議を通じて、アイデアを出す難しさを体感したと思いますし、実施してみると、想定外のこともたくさん出てくると思います。しかし、諦めないで実施できるようにするにはどうしたら良いかを皆さん考えてみてください。

タピオカパンダグループのシェア自転車については、とても面白い取り組みだと感じました。しかし、産業まつり後も運営し続けるには多くの問題点が出てくると思います。そのため、内容を突き詰めて実施していくとやりがいを感じられるのではないでしょうか。

バラバラグループの空き家については、なかなか家を貸してくれる方がおらず、苦労していると思いますが、皆さんで協力し合って乗り越えていってください。

打ち上げ花火グループのアロマキャンドルについては、初めは上手くいかないと思いますが、いろいろ試して経験してみることで、アロマキャンドル以外のものが出来上がるかもしれません。成功までのプロセスを大切にして活動してみてください。

おだっトモンスター清潔グループのフェスについては、順調そうで自信もありそうなので、当日を楽しみにしています。

今後実践していくと、問題点が多く出てくると思いますが、皆さんで力を合わせて解決し、一歩踏み出して何かをやってみるプロセスを大事にしてください。解決するために必要となる情報は、行政からも提供しますし、若者同士で意見を言い合って目標通りにそれぞれの事業を達成することを願っています。